

★台風6号が近づいています。強風や大雨の時に田んぼに行くと、命に関わる重大な事故につながりかねません。天気が回復し、安全が確認できるまで、絶対に見回りに行かないでください。

令和8年度 稲作生育速報 No.1

令和 8年 6月 1日

佐渡農業普及指導センター

水を入れ替えて、茎数を確認しましょう！

5月は晴れの日が多く暖かかったため、生育は順調です。しかし、田んぼの土の表面がはがれる表層剥離や、アオミドロの発生が目立っています。

また、田んぼに入ると、ブクブクと「ワキ」も発生しているため、夜に一時的に水を落とすなど、水を入れ替えて土の中に空気を入れるようにしましょう。

稲の葉っぱが元気に伸びている時は、根っこも伸びています。土の中は見えませんが、根っこが元気に伸びることが出来るよう、土の中にも空気を入れるような管理を心がけてください。

1 6月1日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点ほ場12地点平均、移植日平均5/10)

●草丈は「長い」、茎数は「多い」、葉数は「多い」

区分	本年値	目標値
草丈(cm)	30	24
茎数(本/m ²)	154	90
葉数(枚)	6.3	5.3

2 コシヒカリの管理ポイント

- (1) 1か月予報(2026年5月28日発表)では、向こう1カ月の気温は高くなる見込みですので、茎の数は順調に増えていくと予想されます。
- (2) このため、溝切り作業に先立って田んぼを固める(中干し)の時期は、稲の生育を良く観察して決定することが「とても大切」です。水を入れ替える際には、必ず茎の数を確認しましょう。

【固める時期の目安】

60株田植：1株あたり茎数15～16本

50株田植：1株あたり茎数18本

- (3) なお、田植えが早いほ場では生育も早いですので、中干しの時期を見逃さないように茎の数を速やかに確認してください。

【用水は限りある資源です。地域で話し合い、公平に使用しましょう！】